

おはなしホイホイ 1600 回の歩み

1984 (昭和 59 年)

「おはなしホイホイ」のきっかけとなる図書館講座がスタート
金津町立図書館初代館長・山口 喜三太 氏の呼びかけで講座がスタート。講座では、自分の子どもにどのような本を読み聞かせるかを学んでいました。

1985 (昭和 60 年)

「名作童話を読む母の会」を発足
図書館講座から独立し、自主的な勉強会として発足。

1990 (平成 2 年)

「おはなしホイホイ」がスタート
読み聞かせの対象を、わが子から地域の子どもたちへ広げ、おはなし会「おはなしホイホイ」を金津図書館でスタートさせました。

2004 (平成 16 年)

「読書活動優秀実践団体」として文部科学大臣表彰受賞

2011 (平成 23 年)

「おはなしホイホイ」が 1000 回を迎える
1000 回を記念したおはなし会では、手作りの大型紙芝居を初披露。また、子どもたちが描いた「ぼく・わたしの好きなほん」の展示会も実施し、みんなで絵本の世界を楽しみました。

2020 (令和 2 年)

コロナ禍により活動が制限される
「おはなしホイホイ」スタートから毎年必ず開催していたクリスマス会も中止に迫られました。

2025 (令和 7 年)

「おはなしホイホイ」が 1600 回を迎える
1600 回を記念したおはなし会では、親子 25 人が参加し、大型絵本や紙芝居、手遊びなどを一緒に楽しみました。長く続いてきた活動の節目を祝うとともに、“おはなし”の魅力を改めて感じるひとときとなりました。



▲ おはなしホイホイの様子
(1994 年 9 月 17 日)

なんで「ホイホイ」??
「お母さんたちの口から、おはなしがホイホイって出てきたらおもしろい」という子どもの一言から会の名前がつけられました！



▲ おはなしホイホイ 1000 回記念の様子
(2011 年 6 月 5 日)



▲ おはなしホイホイ 1600 回目の様子
(2025 年 9 月 20 日)



「おはなしホイホイ」開催日時

と き 第 1・3 土曜日：10 時 30 分～11 時
第 2・(5) 土曜日：15 時～15 時 30 分
と ころ 金津図書館 (キッズコーナー)
※ P20 「くらしのカレンダー」をご参照ください

毎週土曜日、図書館の一角が明るい声と温かな空気に包まれます。
「名作童話を読む母の会」(以下「童話の会」)は、読み聞かせ会「おはなしホイホイ」を通して長年にわたり、地域の子どもたちに絵本の楽しさを届けてきました。この活動は、2025 年 9 月に 1600 回目を迎え、これまで延べ約 1 万 9, 800 人の親子が参加しました。
「仕事で忙しい、家庭の事情もある。活動に参加できないメンバーがいれば、代わりにみんなで助け合う。そんな関係があったからこそ、長く続けてこれたのだと思います。」そう話すのは、現会長・山田留美子さんです。
我が子にどんな本を読んでもあげたいかを学ぶ小さな勉強会から始まったこの活動は、やがて、地域の子どもたちに本の魅力を伝える活動へと発展していきました。
一方で、読み手の高齢化やライフスタイルの変化による参加者の減少など、活動を取り巻く環境は大きく様変わりしています。
この活動を次世代へと引き継いでいくには何ができるのか、本特集では、会のこれまでの歩みや活動、そして司書や参加者の声も交えながら、この活動がいかに地域にとって「かけがえのないもの」となっているのかをひもとき、未来へつなぐ想いに迫ります。



▲ 市内小学校で出前ホイホイを行う
(2005 年 1 月 19 日)



▲ 今も継続して月 1 回開催される例会の様子
(2008 年 9 月 13 日)



▲ 金津高校の総合学習で読み聞かせの技術を伝える
(2009 年 1 月 23 日)



▲ 市姫荘で高齢者向けの出前ホイホイを行う
(2012 年 9 月 12 日)